

令和元年度

「言語聴覚の日」イベント報告



島根県

一般社団法人山陰言語聴覚士協会 島根県言語聴覚士会では、「言語聴覚の日」に合わせて、9月1日(日)に江津市にある島根県済生会江津総合病院にて、「失語症者向け意思疎通支援事業 研修会in江津」を開催いたしました。島根県では平成29年度より、失語症者向け意思疎通支援者養成講座の開始に向けての準備を進めています。失語症への理解を深めてもらうこと、また、支援制度を多くの方に知ってもらうために、令和元年度は計2回の講演会と研修会を開催しました。東西に長い島根県ですので、7月は東部の松江市で講演会を開催し、9月は西部、江津市での研修会を行うことになりました。

当日は、当事者やそのご家族、行政の方、看護師、保健師やSTを目指す学生など様々な職種の方、計64名の参加がありました。

失語症当事者の方から支援事業への期待の込められたあいさつに始まり、前半は失語症とは何か、失語症の理解とその対応方法についての講義、後半は失語症の方とのコミュニケーションのとり方をグループワークによる演習の形で学びました。

参加者からは「伝えることの難しさを再認識できた」「失語症の方がどのような支援を必要としているのかをお聞きしたいと思った」などの感想があり、失語症について関心を持ってもらう良い機会となったのではないかと思います。研修会の最後は、失語症の方やそのご家族の交流の場として、県内4か所にある失語症友の会の活動を紹介させていただきました。

島根県では、令和2年度より松江市で養成講座が始まります。失語症についてより多くの方に知っていただきたいと思うと同時に、失語症当事者の方のニーズに応じた支援が行き渡るよう、今後も活動を継続していきたいと思います。

一般社団法人 山陰言語聴覚士協会
島根県言語聴覚士会 平川智恵子

